



2021年4月2日

各 位

会 社 名 株式会社日本色材工業研究所
 代 表 者 名 代表取締役社長 土谷 康彦
 (JASDAQ コード番号:4920)
 問 合 せ 先 取締役経理・財務部長 霜田 正樹
 (TEL. 03-3456-0561)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）において下記のとおり特別損失を計上するとともに、最近の業績動向等を踏まえ、2020年10月8日に公表しました2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の通期の業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2021年3月23日に公表しました「工場閉鎖に関するお知らせ」のとおり、2021年2月期の連結会計年度におきまして、吹田工場閉鎖に伴う業績への影響として128百万円を特別損失に計上する見込みです。

2. 業績予想の修正について

(1) 2021年2月期通期連結業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,803	△484	△353	△252	△120.50
今回修正予想 (B)	9,143	△831	△588	△848	△404.93
増減額 (B - A)	△660	△347	△235	△596	
増減率 (%)	△6.7	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	12,207	449	405	283	135.31

(2) 2021年2月期通期個別業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,475	△507	△361	△172.36
今回修正予想 (B)	6,842	△710	△935	△446.17
増減額 (B - A)	△633	△203	△573	
増減率 (%)	△8.5	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	9,956	262	180	86.27

(3) 通期業績予想の修正の理由

2021年2月期の連結会計年度におきまして、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大は世界規模で継続、国内では感染拡大を受けて2021年1月に2度目の緊急事態宣言が発出され、欧米各国でも都市封鎖（ロックダウン）が繰り返されており、ワクチン接種が開始されたものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。化粧品市場につきましても、感染防止に向けた外出規制やマスク着用による化粧頻度の低下、海外旅行規制によるインバウンド需要の急減や免税店売上の急減など、大きな影響を受けました。

当社におきましても、国内・海外の化粧品メーカーからの受注の減少や後ろ倒しを受けて、連結業績・個別業績共に、売上高は前回発表予想を下回る結果となり、2019年に竣工した「つくば工場第3期拡張工事」や海外子会社における設備投資による生産能力の拡大を活かせない状況が続いております。

2021年2月期の通期業績予想につきましては、第3、第4四半期の売上高は、前回発表予想では第2四半期累計期間並みに留まる見通しを策定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、前回発表の予想を下回る見込みです。また、利益面でも、売上高の減少と「つくば工場第3期拡張工事」等に伴う諸費用の増加による赤字計上を予想しておりましたが、更なる売上高の減少や、上記吹田工場閉鎖に係る特別損失の計上等により、引き続き各種コスト圧縮に努めているものの、連結業績・個別業績共に前回発表の通期予想を上回る赤字の計上を余儀なくされる見込みです。

- (注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響の程度や期間が不透明な中、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上